

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	ヒト肝臓がんにおける S-ニトロシル化の検出
	研究対象者	肝臓がんと診断された患者さんのうち、2013 年 4 月から 2024 年 7 月の間に神奈川県立がんセンターで治療を受けられた方
	研究目的	がん変異細胞が周囲の正常細胞の働きで選択的に排除される現象を「細胞競合」と呼びます。現在、FGF21 という物質が細胞競合を誘導すること、細胞や動物実験により FGF21 が作られるために ASK1 の S-ニトロシル化が必要であることを明らかにしています。今回、患者さんの肝臓がんでも ASK1 の S-ニトロシル化が起きているかを検討し、この分子機構のがん治療への応用を目指します。
	研究方法	神奈川県立がんセンターから手術により採取され、病理部・生体試料センターに保管されている診断済み肝臓組織を用いて、東京大学大学院薬学系研究科において S-ニトロシル化を検出する Biotin-switch assay を行い、ASK1 の S-ニトロシル化が正常組織と比較してがん組織で亢進しているか解析する。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 4 年 1 0 月 1 5 日 ~ 西 暦 2 0 2 6 年 3 月 3 1 日
利用又は提供を開始する時期		[] 総長が研究実施を許可した日
		[<input checked="" type="checkbox"/>] 西暦 2024 年 12 月 1 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[<input checked="" type="checkbox"/>] 試料:	[] 血漿、[] 血清、[] 全血、[] 末梢血から抽出した DNA、 [<input checked="" type="checkbox"/>] 病理検体(具体的に記載: 病理診断後の余剰組織)、 [] 尿、[] 糞便、[] 唾液、[] 胸水、[] 腹水、[] 脳脊髄液、 [] 毛髪、[] その他(具体的に記載: _____)
	[<input checked="" type="checkbox"/>] 情報:	[<input checked="" type="checkbox"/>] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[] 年齢、[] 生年月日、[] 性別、[] 既往歴、[] 併存疾患、[] 外来日・入院日・退院日、[] 臨床検査値、[] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[] 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、 [] ゲノムデータ、[] 看護記録、[] その他(具体的に記載: _____)
試料・情報の利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 神奈川県立がんセンター臨床研究所・佐藤 慎哉
	共同研究機関および責任者（研究代表）	施設名・氏名 東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室・名黒 功
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター臨床研究所・佐藤慎哉 連絡先：045-520-2222（がんセンター代表） 利用停止のお申し出は 2024 年 11 月 30 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	